

multilingual translation >

You can get information about
Yonago on your smartphone.



音声読み上げ・多言語翻訳は「カタログポケット」で

みず・まち・自然 エンジョイ！米子

広報 米子

12

2025
December
No.249

特集

未来を育む仕事

～保育士・幼稚園教諭の魅力～

特集

未来を育む仕事

保育士・幼稚園教諭の魅力



子どもたちの成長をそばで見守り、共に歩む保育士や幼稚園教諭。毎日の小さな“できた！”を支え、未来への大きな一歩へとつなげています。今回は、この「未来を育む仕事」の魅力や現場の元気な声をご紹介します！

未来につながる仕事

保育士・幼稚園教諭の仕事って、どんな仕事ですか？
認定こども園あけぼの幼稚園の、
梅林先生に聞きました。

保育士・幼稚園教諭は、子どもの一番身近にいる存在です。子どもと生活する時間が長いので、子どもの成長を強く感じるができます。

子どもたちの成長を支えるうえで大切にしていることは、子どもたちの能力を引き出すことです。特に今は年長を担当しているので、就学に向けて自分で考えて行動できるように、何かあったら「どうしたらいいと思う？」と投げかけ、ク



認定こども園あけぼの幼稚園

うめばやし さやか さん
梅林 沙耶香 さん

ラスで話し合うようにしています。その先には、大人になったときに社会で活躍してほしい、人生を楽しんでほしいという願いがあります。まさに、未来につながる仕事です。

大変なときもありますが、いつも子どもたちの笑顔にパワーをもらっています。



VOICE

ICT 化で家庭にも現場にもゆとりを！

さまざまな保育記録や連絡帳のデジタル化など、米子市内の園ではICT化が進んでおり、約9割の園で導入済みです。米子市は引き続き、ICT化の推進に取り組めます！



のぞみ保育園
園長 渡部 一樹さん

職員の負担軽減になり保護者との会話も弾みます

当園では今年度から本格的にICTを導入しました。登園や降園の管理はもちろんのこと、園での子どもたちの写真や手紙、そして連絡帳もアプリで見られるようになりました。職員にとっては、書く時間が短縮され負担軽減につながりました。保護者の皆さんにとっても、日ごろ園で遊んでいる様子がアプリで見られるので、これをキッカケにして会話も弾み、よりコミュニケーションが取れるようになりました。さまざまな書類の作成や管理にかかる時間も減り、他の業務や行事の準備に、より時間が使えるようになりました。



登降園時にはアプリをかざす

対等な信頼関係を築きたい

昨日までできなかったことができるようになった瞬間や難しいこと、新しいことに挑戦しようとする姿に子どもたちの成長を強く感じます。私は、子どもたちと友達のような、対等な存在でいたいと思っていて、いつも明るく笑顔でいることを心掛けて子どもたちと関わっています。また、ハグしたりハイタッチしたりするなど、信頼関係を築くためにスキンシップも大事にしています。今まで年中児と年長児しか担当していませんが、今後は未満児クラスも経験して、オールマイティーな先生になりたいと思っています。保育士の仕事は、子どもたちの可能性を引き出し、未来を広げるお手伝いができる大切な、温かい仕事だと感じています。

かいけ心正こども園
たけだ なつみ
竹田 夏実さん



届け！ 先生たちの

思い

先生たちは普段、どんな思いで子どもたちと接し、やりがいを感じているのでしょうか。
5人の先生たちにインタビューしました。

体を動かして一緒に遊びたい

鬼ごっこなど、ルールのある遊びを最初は大人が教えていたのに、成長するにつれ、自分たちでルールを作って遊んでいる様子を見ると、すごく成長を感じます。体を動かすのが好きなので、子どもたちと一緒にたくさん遊ぶようにしています。子どもたちも喜んでくれるのでうれしいです。

子どもたちのことを十分理解した上で、保育の計画を立てて、実行して、反省して、次につなげることを大切にしています。この時に、子どもたちを楽しませられる発想力があると、より良いと感じています。子どもが好きなアイデアマンの方、保育士はとてもおすすめです！

えんぜるこども園
やすはら たいき
安原 汰紀さん



ずっと笑顔で接したい

子どもたちは、先生やお友だちと一緒に、日々の積み重ねでできることが増えます。「靴が履けた！」「ごはんが食べられた！」「トイレに行けた！」など、できたときの子どもたちの笑顔を見ると、とてもやりがいを感じますし、うれしくなります。

子どもたちが大好きなおうちのように、家庭的で温かい雰囲気の中、一人一人の気持ちに寄り添った保育をめざしています。また、保護者の方と、お子さんの頑張る姿や成長していく姿を一緒に喜び合えることも大切にしています。

子どもたちが安心して園での生活を過ごせるように、どんなときも笑顔で接する先生でありたいです。

小規模保育園たんぽぽ
ひらた さとみ
平田 智美さん



保育士などの 人材確保は喫緊の課題

小学校入学前の幼児を対象に、保育所、認定こども園、幼稚園などで行われる保育・教育活動を「就学前教育」と言います。遊びや集団生活を通して心身の健やかな成長を促し、小学校以降の学習や生活の基盤を育む、非常に重要なものです。就学前教育の質を維持・向上させていくためには、それを支える保育士などの人材確保が何よりも重要です。

米子市では平成27年度以降、出生数も子どもの数も減少傾向にあります。また、保育施設への入所児童の傾向にも変化が見られ、1歳児の定員枠はほぼ埋まる一方で、0歳児の定員に空きが生じるなど、保育ニーズの変化が進んでいます。こうした変化に柔軟に対応するためにも、十分な人員体制が不可欠です。

加えて、米子市が推進するインクルーシブな保育・教育（障がいの有無や発達の度合いに違いがあっても、必要な支援を受けながら、子どもたちが同じ環境で学習し生活できる体制）の実現には、より多くの保育士などの配置が必要とされています。

未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えるために、保育・教育の現場において、子どもの受け入れ体制を整えることは未来への投資であり、保育士などの人材確保は喫緊の課題です。

保育士・幼稚園教諭をめざすあなたへ

保育の魅力発信 クリスマスマルシェ

◆と き 12月20日（土）

午前10時30分～午後0時30分

◆ところ ふれあいの里1階 大会議室
（米子市錦町1丁目139-3）

※事前申込不要、入場無料

お仕事体験ブースや、仕事に関する疑問を直接相談できるコーナーに加え、男性保育士会によるコンサートや鳥取短期大学の学生によるパフォーマンスなど、楽しいイベントが盛りだくさんです！

ぜひお越しください！

☎ こども政策課（☎ 23-5178）

さまざまな感情を共有したい

自分が幼稚園で育ったこともあり、幼稚園を選びました。子どもたちは成長と共に、さまざまな感情が出るようになります。今までできなかったことができるようになって喜んだり、くやしくて涙を流したり、そんな感情が出る瞬間にやりがいを感じ、子どもたちと感情を共有しながら成長を見守りたいと思っています。子どもたちの素直さや自由な発想に触れたときには気づきを得て、日々学びの多い仕事だと感じています。

保育をする中で悩んだときは、ほかの先生に相談に乗ってもらって、日々の保育をしています。先生同士で支えあい学びあいながら、子どもたちの成長を支えていくことができる素敵な仕事です。

にしき幼稚園
やまうち まなか
山内 愛香さん



思いに寄り添いたい

毎朝子どもたちが登園した時に、「先生～！」と駆け寄って来てくれるのが、すごくかわいくて癒されます。

子どもたちの挑戦をサポートして、できたときはすごくやりがいを感じます。跳び箱や縄跳びなど、できたときに「先生できたよ！」と一番に報告してくれます。

日々、色んなことがあります。子どもの思いを否定せず、まずは受け止めて寄り添うようにしています。「先生はいつもあなたを見てるよ、大好きだよ」という思いが子どもたちに伝わるように、まずはしっかりと話を聞いて、子どもたちの言葉にできない思いを汲み取ってあげたいと思っています。

ひばり保育園
かねだ はるか
金田 春香さん

